

Profile



谷 敬三 (たに けいぞう)
丹波市出身
県立柏原高等学校 (21回生)
東北大学経済学部卒業
昭和48年に(株)神戸製鋼所へ入社
退社後は(一社)日本伸銅協会理事・事務局長などを歴任

がんばる

同郷会・同窓会の

世話役のご紹介

**柏陵 (柏原高校)
同窓会東京支部**

われら

ひょうご人

このコーナーでは、首都圏で同郷会や同窓会の世話役をされている方の活躍をご紹介します。
今回は、柏陵同窓会東京支部長 谷 敬三さんからお話をお伺いしました。

柏陵同窓会(東京支部)の概要を教えてください。

母校である県立柏原高等学校は、明治30年に兵庫県柏原尋常中学校として開校しましたので、今年で創立123年になります。神戸市、姫路市をはじめとする阪神間など都市部の多い兵庫県で、県下4番目の中学校として創設され、その後県立柏原中学校と改称されました。明治30年といえば、京都(帝国)大学の創設と同時期であり、丹波という田舎に早々と旧制中学校が創設されたことは、当時の関係者の教育に対する誇り、意識の高さを強く感じます。

現在、卒業生総数は4万名を超えており、兵庫県唯一の総理大臣(芦田均首相…3回生)を輩出した学校でもあります。

卒業生による同窓会は、県立柏原中学校(旧制)が明治35年に「校友会」を、県立柏原女学校(旧制)は明治37年に「松柏会」を創設し、戦後、昭和26年には、旧制2校に県立柏原高等学校(新制)の同窓会組織を統合し、柏陵同窓会として発足致しました。

東京支部は、中学校創立前から発会していた地元出身者の会である「東京氷上郷友会」(現関東氷上郷友会)

から発展し、昭和30年には柏陵同窓会東京支部が発足、その後松柏会東京支部も合併し現在の会員数は、約1,200名になります。

母校で共に学んだ卒業生、また、丹波という環境で共に育った仲間のつながりは強いと感じます。柏原高等学校では、伝統的に「卒業30周年の同期会」が母校で毎年行われています。昨今、個人情報取り扱いが厳しく、同窓生名簿などの情報が集まりにくくなってきていますが、こうした同期会の幹事さんの協力も得るなど名簿収集にも工夫しています。



令和元年7月 柏陵同窓会東京支部総会の様子

柏陵同窓会東京支部と柏陵同窓会、母校の関わりを教えてください。

東京支部は、静岡・長野・新潟各県以東の同窓生で組織しています。柏陵同窓会は、阪神、京滋、東海、篠山にも支部があり、総会には各支部の会員が互いに参加する等、仲が良いと思います。



校庭で生徒を120余年見守り続けたクスノキ

同窓会の目的は会員相互の親睦と母校の発展に寄与することであり、母校創立100周年の際は、同窓会本部を中心に寄付活動を進め、250名以上の収容可能な柏陵会館（同窓会会館）を母校に建設しました。

また、母校校庭のシンボルツリー大くすのきの樹勢が弱くなった際は、「くすのき基金」として同窓会も一緒になって各支部で基金を募り、樹木医の手当てを受けて、現在は樹勢が回復しています。ほかに丹波水害被害への義捐金や120周年基金等、連携を続けています。

柏陵同窓会東京支部の活動についてお聞かせください。

年次総会を毎年7月第2日曜日に学士会館で開催しており、毎年150名前後の参加があります。

総会は、「会務（会計報告など）」「セミナー」「懇親会」の3部制からなり、「幹事学年制（65歳の年次）」により、セミナーと懇親会の運営は幹事学年年に一任しています。セミナー講師も幹事学年が務め、丹波に関連する話題が故郷への思いを馳せる契機となり、大変盛り上がりがあります。

東京支部の特徴として、母校・丹波市に加え、「兵庫県」が故郷という意識が高く、兵庫県（兵庫県人会）とも繋がっていたという想いが非常に強いことです。他支部の同窓会員の参加も多く、総会の機会に学年ごとの同期会等も積極的に企画されています。

柏陵同窓会東京支部に関わったきっかけを教えてください。

神戸製鋼で3年間ラグビーに打ち込み、新しい任務のため昭和51年、25歳で東京に出てきました。東京在住の伯父に挨拶に行くと、柏陵同窓会東京支部の総会が開催されるので参加するよう誘われました。

伯父は母校卒業後に大学へ進み農林省（当時）で勤務しており、丹波弁で故郷や母校のことを語り合う喜びを感じていたのだと思います。東京生活を始める私にそうした故郷への思いや母校同窓生の誇りのようなものを伝え、身内に引き継ぎたかったのでしよう。

伯父以外に知った出席者はいなく嫌々ながら出席していましたが、参加するうちに、母校と故郷丹波という共通の話題だけで初めての方とも話が繋がりが、楽しむことができるようになりました。私の実家は書籍業を営んでおり母校の教科書も扱っていましたので、「谷書店の息子」であることを名乗ると、相手の方も「あー！あの谷書店の！」と、気づいて頂くなどにも助けられました。

柏陵同窓会東京支部の皆さまへメッセージをお願いします。

東京には母校・柏原高校や故郷・丹波を語り合う機会が2つあります。「柏陵同窓会東京支部」と「関東水

郷友会」とです。

「柏陵同窓会東京支部」は柏原高校同窓生の会。「関東水郷友会」は故郷・丹波に縁のある皆さまの会です。

それぞれ7月と11月に年次の「総会・懇親会」・「ふるさとの会」を催しており、多くの同窓生や会員が集います。

両方の会の90%以上は柏原高校の同窓生ですから、年次や出身の町などはそれぞれですが、母校や故郷を同じくする気持ちは共通です。思いっきり丹波弁で母校と故郷の話をしませんか。また、校歌や応援歌も一緒に歌い、一緒に笑い泣きませんか。近所で一緒に遊んだお兄さん、お姉さんとの何十年ぶりの再会などサプライズも期待できます。

2つの会を活用して、母校、丹波そして兵庫への思いを繋いで下さい。今年にはコロナ禍の影響から中止せざるを得なくなり誠に残念ですが、来年は7月11日（日）「学士会館」でお会いできることを楽しみにしています。

どうもありがとうございました。



柏原高校創立100周年記念で建立の同窓会館

●連絡先

柏陵同窓会東京支部事務局
〒170-0011
東京都豊島区池袋本町4-22-17
(支部長 谷 敬三 気付)
TEL/FAX : 03-3971-7826
E-mail : tani_finance@a.toshima.ne.jp
東京支部HP : <http://hakuryo-tokyo.org/>